

(要旨)

◇目的

長期介護療養施設(LTCF^A)に居住する高齢の中等症～重症COVID-19患者を対象とした回復期血漿(CP)輸血の安全性および有効性を評価する。

◇患者および方法

イタリア、ロンバルディア州のLTCFに居住し、2020年5月15日～7月31日にCPを投与された高齢のCOVID-19患者22人を前向きコホート研究に組み入れた。患者の臨床的パラメーター、機器測定および臨床検査によるパラメーターは、CP治療後に評価した。このグループの全体的な死亡率を、2020年3月～5月の3カ月間にロンバルディア州の他のLTCFで記録されたものと比較した。

◇結果

組み入れられた患者22人のうち、68.2%(15人)が血漿を1単位、27.3%(6人)が2単位、4.5%(1人)が3単位投与された。輸血された血漿(計30単位)のうち、76.7%(23/30)の中和抗体価は1:160以上であった。CP輸血中または輸血後の有害反応は記録されていなかった。CP輸血後14日間における臨床的、機能的、放射線学的および臨床検査上のパラメーターの改善が、生存患者19人全員で観察された。ウイルス排除は追跡調査終了時まで患者全員で達成された(中央値66日;IQR[48～80])。CP治療群の全死亡率は13.6%(22人中3人)で、対照群(38.3%, 733人中281人, $p=0.02$)と比較して良好であり、死亡リスクの65%の減少に相当した。

◇結論

LTCFに居住する高齢の有症状COVID-19患者において、適切な抗SARS-CoV-2抗体価のCPを早期に投与する治療法は、ウイルス排除、患者の免疫回復、COVID-19感染症の進行抑制に安全かつ効果的であり、その結果患者の生存率を改善する。

^A long-term care facility